

●尾根筋ハイキングコースの下見(太田、森島)と、年末清掃に 22人参加 12月1日(日)

昨年の教訓で朱智神社から穂谷への三差路付近の通行が困難との連絡があったので、下見に行っていました。そしてハイキングコース清掃の当日に草刈り機を持って訪れてみると鎌で刈り取ってありました。地元の方などが手入れをされたのでしょうか。ずいぶん歩きやすくなっていました。

清掃当日の9時30分に普賢寺小学校前に集合されて登山口等へ移動してごみ拾いを始めました。コース案内の登山口から登りはじめると、目印の赤い布は随分と傷んでいました。また急な登りは、階段が姿を変えてしまって歩行には苦労しなければなりませんでした。

また予想していない大木が倒れて重なったりして乗り越えて前進しなければならぬスリリングな場所も数カ所ありました。子供達はこうしたところを楽しみながらスピードを上げて進み、楽しんでいるようでした。大人には少し苦労でしたが、登りきる事が出来ました。この急な登りを登り切りますと関電の鉄塔管理をしている通路でしっかり整備されていました。

竹藪道やどんぐり道を進み少し疲れた頃、太田尾の府道交差点に出会い、ここで一息入れて記念写真を撮りました。高船集落を前方に見て田畑の道を進み高船集落のバス停から田原への道から藪の中の登りを這いあがるようにして前進すると京田辺市の最高地点に到着旗振り山(千鉢山)に到着しました。ここから山道をしばらく進むと不動明王座像に出会い凄



ヌメリシギタケ



い顔の形相に驚いて進むと笠神神社に到着、昼食時間と休憩をとり、拾ってきたゴミが例年より大変少なくなっていました。ハイキング客が少なくなったのか、ハイカーのマナーが良くなったのでしょうかと色々話し合いました。清掃に参加していただいた方が後日友人を誘ってハイキングに来られたとの報告がありました。

●桜谷先生から連絡がありました。みなさんご都合がつくようでしたらご出席ください

12月12日(木) アライグマの学習会(午前:現地視察、午後:学習会出席 終了後:自由時間)

12月13日(金) 14日の下見調査 リクエストがあれば対応可能

12月14日(土) 午前昆虫観察会 午後第5回イタセンパラの復元を目指す会出席

12月15日(日) 午前特別な予定はないのでリクエスト待ち 午後大阪での約束日程あり

との日程ですから、あいた時間には先生が対応していただけますので、ご連絡ください。

●木津川希少種植生調査業務の集草作業が実施されます 12月7日(土)、8日(日)

同志社大学サッカー部ボランティアの皆さん約25人程度が木津川希少種植生調査業務の集草作業にご参加いただきます。

近鉄興戸駅に9:00に集合をお願いしています。ここで顔合わせの上7日の作業予定は木津川市加茂町の恭仁大橋の下流400m左岸＝(流れの方向に向かって左の堤防)で9:30に全員が自主集合、作業分担をして作業場所へ移動の予定です。

加茂町の作業が終了すると木津川市山城町へ移動いたします。(多分この辺りで昼食予定、ここまでできれば大変上出来です)一応井手町までと見込んでいます。翌8日の作業計画は9:30に興戸駅集合です。

9:30には八幡市からの組(上流に向かって進む)と京田辺市飯岡から(下流に向かって進む)の2つの組に分かれて出会えるところまで進みます。両日ともお弁当は大村理事長が手配をしておりますのでご安心ください。不十分な所は電話で調整をしたいと思います。太田(070-1743-4773)または、山村(090-1700-3295)に連絡下さい。



昨年の集草作業の様子

●岡山県へ博物館の視察に行きました。

11月30日(土) 岡山県自然保護センターの視察で、40年前は裸地状態の山間地(ゴルフ場建設のブームの折)に防水対策を行って真砂土を入れ人工湿原を復元された施設で3人の職員と非常勤職員と併せて10人が企画提案実行をして応援支援を行って運営されています。年間35,000～37,000人程度の参加者を受け入れているとのことでした。タンチョウ35羽を飼育されていました。ハッチョウトンボ トキソウ サギソウが生育し アカハライモリ タガメ ドジョウ ヤゴなどが植物園や野草園で採取する取り組みがされるそうです 周囲にはアカマツ クロマツ アベマキ林 コナラ林が形成されていました。人材育成ではボランティア618人が組織されて、小中学生が全国大会で発表されていると報告されました。なお、傷病鳥獣の保護も受入れ、鳥インフルエンザ対策を行っておられました。

12月1日(日) 倉敷市立自然史博物館

1975年に新倉敷庁舎の建設に伴った跡地利用で、一角を占めていた水道庁舎が自然博物館として1983年に開館されました。それが現在、市の計画で移転が計画されて一日2本のバス運行しかないところへ3～4年後に移転完成されるとのことでした。

大原孫三郎(倉敷紡績社長・クラボウ)の大原美術館を建設や、重井博(医師)(瀬戸内海からの人骨収集家＝漁師から買い取ったものを自分の病院内に博物館を設置している。)のこの博物館にも

大きな展示スペースがあり展示されています。こうした人がいたと強調されました。収集物(無料)が殆どで、多くの収集物



は今後放置すれば散逸していくので、今が貴重な収集時期だとして収集されており、廊下に山ほど置いてありました。ここではその収集物である本物に直接接触の事が出来る方式を取っていました。個々の職員も3人だとお聞きした。



木津川で絶滅したとされているオオウラギンヒョウモンの標本を引き出して実物を撮影する事が出来ました

農園部会だより
8人でたくさん作業をしました

●11月30日(土) 里山農園にて

今日の活動には8人が集結してくれました。1号地で植えられていたピーマン・万願寺の片づけ、7号地の草刈り、16号地での玉ねぎの植え付け、前日に仕掛けたアライグマ捕獲の檻の確認、3号地から4号地にかけての溝(水路)の維持管理、ヤマトサンショウウオ生息地の確認などそれぞれが手分けして多くの作業を行うことができました。また、太田さんの指導の下に小川さんがトラクターで16号地を耕してくれました。年季の入ったトラクターで気難しい面がありますが、有田さん・太田さんがメンテナンスをしてくれていたおかげで機嫌よく動いてくれました。小川さんの感想は、「講習会以来の運転で、自動車とは異なるので操作に冷や冷やでしたが、事故なく作業を終えることができてほっとしました。」ということでした。



安全に効率よく作業するための打合せ



耕運機で耕した16号地

●アライグマ学習会にご参加ください。 12月12日(木)

この度NP0法人の里山の会では7月を中心に3頭を捕獲しましたが、8月9日昼間に6頭が一度に撮影される場面がありまして大変驚きました。聞くところによるとやましろ地域では2,000匹が生息しているのではないだろうか、そして普賢寺地区では500匹程度はいるだろうとのことでした。私たちは生態などを詳しく理解できていけませんので、学習会の提案を頂きましたので京田辺市普賢寺の水取で11時から檻設置の現場を確認して、午後1時半から京田辺市中央公民館で兵庫県の栗山先生からアライグマについてお話を伺うことにいたしました。先生はイノシシなどの哺乳類にも精通されているとお聞きいたしておりますので、ご一緒に学習しませんか。ご参加をお願いいたします。参加費は無料ですので気楽にお越しください。

●冬の昆虫観察会を里山農園付近で行います。12月14日(土) 10:00から

狙いは毎年行ってきている国蝶のオオムラサキの幼虫を確認したいとしていますが、他の越冬中の多くの生き物を見つけられたらと思っています。ご指導を前近畿大学教授の桜谷先生にお願いをしています。先生にはこれまでヤマトサンショウウオの発見にも大変お世話になってきました。また里山農園付近の生き物関係にはずいぶん学習させていただきました。昆虫好きの皆様の

ご期待にこたえ、色々と教わることができると思いますのでたくさんのご参加をお待ちしています。なお小学生の皆さんは保護者の方とのご参加をお願いいたします。住所・氏名・年齢・電話番号をメールで送ってください。一応参加制限は20組としています。当日飛び込み参加も可能ですのでよろしくお願い致します。参加費は無料です。防寒対策を十分をお願いします。

第5回イタセンパラの復元を目指す会 12月14日(土)13:00 北部住民センター 大住中学校北隣

ご参加ください 里山の会の取組も紹介いたします

アライグマ対策 オオムラサキ対策 イノシシ対策 中学生の調査観察活動

イタセンパラの復元を目指す今後の取り組みを検討

参加費は無料

今年の会場から変更になっています。

井手町⇒京田辺市大住中学北隣 北部住民センター

●里山里海つながるフェス 近鉄高の原駅イオンモール 初めての活動発表展示会 12月8日(日)

この展示会は呼びかけをいただいて良いチャンスをいただきました。木津川を中心にした地域で里山の会の活動紹介として参加を決定いたしました。山城の中心を流れる木津川などを活動場所としてきた内容をぜひご理解ください。そして「自然を大切にする仲間を大きくする」スローガンで28年活動を継続してきた里山の会にご入会下さい。



特定非営利活動法人 (NPO) やましろ里山の会

年会費 1家族 2000円

会誌 「里山の自然」送付 年間2回発行

毎週水曜日 10:00 事務局会議 会員 出席可能 活動提案

毎週木曜日 パソコン教室 週刊ニュース発行

会員外も出席可能 無料

毎週火・土曜日 9:30 里山農園作業日

会員 栽培農園耕作可能 無料

事務所 京田辺市田辺深田 15 0774-64-4183 (FAX 兼)

メール fddb257@yahoo.co.jp